仕事はあるけど
人がいなくて
生産が上がらない
切削加工業のための
自動化セミナー

講　座　内　容

第1講座

「従業員を増やさずに生産量・売上をアップするためのロボット活用成功の方程式徹底解説!」

株式会社船井総合研究所　製造テクノロジーDXユニット　リーダー　徳竹 勇兵

第2講座

「社員数わずか8名の樹脂・アルミ切削加工会社が協働ロボットの導入に成功し残業・休出を大幅に削減したゲスト事例講座!」

株式会社サンアイ化成　取締役　細川　修 氏

第3講座

「従業員50名以下の樹脂・アルミ切削加工業の社長が取り組むべきロボット戦略・知っておくべきロボット最新技術」

株式会社船井総合研究所　製造テクノロジーDXユニット　リーダー　徳竹 勇兵

開　催　概　要

※ 講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をお選びください。

東京会場

2024年 5月23日(木)

●10:00～12:30(受付開始 9:30～) お申込み期日:5月19日(日)

船井総研グループ東京本社
サステナグロースクエアTOKYO
〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目2ー1　東京ミッドタウン八重洲八重洲セントラルタワー35階　●JR「東京駅」徒歩3分
※【2024年4月1日】より八重洲に移転し、開催いたします。ご来場の際はご注意ください。

大阪会場

2024年 5月28日(火)

●13:30～16:00(受付開始 13:00～) お申込み期日:5月24日(金)

株式会社船井総合研究所　大阪本社
〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜４丁目４－10　船井総研大阪本社ビル
● 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」10番出口より徒歩2分

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また、最少催行人数に満たない場合、中止させて頂くことがございます。尚、中止の際、交通費の払い戻し手数料当のお支払いは致しかねますので、ご了承ください。

受　講　料

一般価格 税込 11,000円(税抜10,000円)／1名様　会員価格 税込 8,800円(税抜8,000円)／1名様

●お支払いが、クレジットの場合はお申込み手続き完了後の案内（メール）をもって、セミナー受付とさせていただきます。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内（メール）をもって、セミナー受付とさせていただきます。●銀行振込の方は、税込金額でのお振込をお願いいたします。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4日前までにお振込できない場合は、事前にご連絡ください。尚、ご入金が確認できない場合は、お申込みを取消させていただく場合がございます。●ご参加を取り消される場合は、開催３日前まではマイページよりキャンセルをお願いいたします。それ以降は下記船井総研セミナー事務局宛にメールにてご連絡ください。尚、ご参加料金の50%を、当日の欠席は100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長 online プレミアムプラン（旧：FUNAI メンバーズ Plus）へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込み方法

PCの方はこちら

船井総研　112371　検索

※6 桁の数字も含めて検索ください
https://www.funaisoken.co.jp/seminar/112371

スマートフォンの方はこちら

右記のQRコードをスマートフォンなどで読み取りいただき、セミナーページよりお申込みください。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研　FAQ」と検索しご確認ください。【TEL】0120-964-000(平日9:30～17:30)
※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。また、お問い合わせの際は「お問い合わせNo.とセミナータイトル」をお伝えください。

小規模切削加工会社のロボット活用!

株式会社サンアイ化成
取締役
細川　修 氏

うちは**従業員が8名**ですが、
人員採用ではなく
ロボットを活用して
生産量をUPするとともに
月間工数を100時間削減して
生産性を向上しました

〈主催〉

樹脂・アルミ切削加工業のためのロボット活用セミナー　お問い合わせNo.S112371

サステナグロースカンパニーをもっと。Funai Soken　船井総研セミナー事務局　E-mail:seminar271@funaisoken.co.jp
※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNo.お客様氏名」を明記の上ご連絡ください。

株式会社船井総合研究所　〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。→ 112371

仕事はあるけど人がいなくて生産が上がらない切削加工業のための自動化セミナー

このようなお悩みを感じていませんか?

Case1
人手不足
受注はあるが人手が足りない…人を増やさずに生産量を上げたい!

Case2
単純作業が多く生産性が低い
ワークセットなどの非付加価値作業を減らし、従業員には高付加価値作業に従事してもらいたい!

Case3
熟練作業者が低付加価値作業を行っている
熟練作業者は難易度の高い、儲かる作業に従事してもらいたい!

このようなお悩みをお持ちの中小製造業が
1日でも早くロボット活用を実施すべき3つの理由

Reason1 人手不足は今後さらに深刻化するから

Reason2 社員一人当たりの生産性を高める必要があるから

Reason3 熟練技術を継承していく必要があるから

中小製造業、ロボット活用成功の方程式

Point1
自動化したときに、最も費用対効果のでる製品・作業を分析!
製品・作業分析を行い、投資枠を設定する!

Point2
低コストでロボット導入を実現!
補助金を活用し、低コストでロボットを導入する!

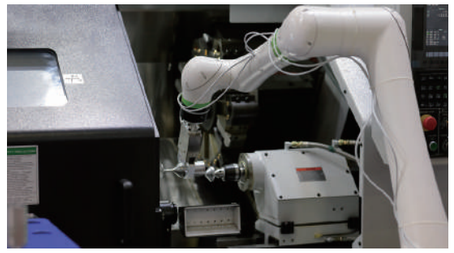
Point3
熟練作業者の手を空け、生産性を上げる!
ロボットの担当者を若手に担ってもらう

セミナーでは、**実際の成功事例**とともに、上記のポイントについて**徹底解説**いたします! **セミナー詳細は裏面へ!**

セミナー登壇企業インタビュー

株式会社サンアイ化成 取締役 細川 修 氏へ インタビュー!

人を増やさずに月間工数を100時間削減して生産量をUPした「株式会社サンアイ化成」
兵庫県西宮市に位置する本社にお邪魔し、ロボット活用の経緯や効果についてインタビューいたしました。



導入経緯

徳竹 いつもありがとうございます。今回は、サンアイ化成のロボット活用術をお聞かせください。まずは、御社のご紹介をお願いします。

細川 株式会社サンアイ化成の細川と申します。平成元年に兵庫県西宮市で創業しました。樹脂部品の切削加工を営んでおります。従業員は8名で、製造担当は6名です。マシニングセンタ・NC旋盤を使用して、プラスチック部品を製造しております。

お客様の業種としては、搬送機械・食品加工機械、半導体分野、研究施設向けの理化学分野、インフラ分野などになります。小規模な会社ですので、小回りを利かせて、単品加工や短納期にも対応させていただいております。

徳竹 ありがとうございます。続いて、ロボット導入に至った経緯を教えてください。

細川 以前のサンアイ化成は、「仕事はあるが人がいなくて生産が上がらない」という課題感があったため、現状のリソースでどのように生産性を上げるかが課題となっていました。

生産量・生産性UPをどのように実現すれば良いかという課題に対して、機械台数を増やす、稼働時間を長くするという答えしかありませんでした。稼働時間を長くするには人数を増やす、残業・休日出勤する、といった方法しか思いつかず、どれも自社の状況に適した施策とは言えませんでした。

そんなとき、船井総合研究所のセミナーで、加工機投入にロボットを活用している成功事例が紹介されていました。その事例を見て、自社でもロボット導入をしたい!と思ったことがきっかけです。

実際にロボットによる自動化を行った工程は、加工機へのワーク投入工程です。まず、2部品、各500個ロット、年3~4回のリピート品がある製品を自動化ターゲットとしました。

この製品は加工時間も長く、作業者がひたすらワークセットしておりました。よって、「この作業をロボット化すれば、作業者の負担も減らせるし、夜間の無人運転ができれば、さらに自動化効果を出すことができる」と考え、自動化対象製品としました。

当初は、Sier(機械システムの導入提案や設計、組立などを行う事業者。)に依頼するつもりでした。

見積り等も行っていただいたのですが、最終的には「まず自力でチャレンジし、難しそうだったらSierに依頼しよう」というコンセプトでロボット導入をスタートしました。

実際にサンアイ化成で稼働しているロボット

導入効果

細川 月間100時間ほど人の作業をロボットに置き換えて工数を削減できています!

夜間のロボット無人加工については約8時間稼働しています。日中8時間プラス8時間と考えれば、稼働時間は倍になっています。

また、工数を削減することができたため職人の手を空けることができました。新規品や単品のプログラム作成など、高付加価値な業務に従事できる時間が増えました!

ロボット導入によって、工数削減を実現できたことに加えて、職人の時間が空いたことも大きい成果だと感じています。

結果的には、社員の頑張りや、ロボットメーカーの手厚いサポートもあり、上手く立ち上げ、稼働することができました。

徳竹 人手を増やさずに生産性を上げようと考え、ロボット導入を決めたんですね。Sierなしでロボットを導入することで、コストを抑えながら投資をすることができたことも重要だと感じます。

株式会社サンアイ化成
取締役 細川 修 氏